

横浜教区 婦人会だより 第4号

2023年8月

〒249-0006
神奈川県逗子市逗子6-5-2
逗子聖ペテロ教会内
日本聖公会 横浜教区婦人会 事務局
TEL/FAX 046-871-2764



< 婦人会大会報告 > 教区婦人会役員 金子孝子

6月27日(火)～28日(水)にかけ三浦海岸のマホロバマインズ三浦に於て2023年度横浜教区婦人会大会が開催されました。コロナ禍を経てほぼ4年ぶりの対面での大会となりました。

松田司祭による開会祈祷に始まり、北川規美子氏による「ヒルダミッションとナザレ修女会」と題しての講演が行われ、明治から現代に至る日本聖公会の女性信徒の働きを知ることができました。夕の礼拝、記念撮影の後、楽しい夕食での交わりの時が持てました。ミニバザーを開いた教会もあり、夕食後も充実した時が過ごせました。翌日は朝の祈り、朝食、そして聖餐式の時を持ち解散となりました。

今回の参加者は56名でしたが入江主教様が言及されたように、オンラインによる会と違って、対面による実際の交流の場は熱気が感じられ、久しぶりの信徒同志の交わりは素晴らしく忘れ難いものとなりました。

礼拝献金がベタニヤホームの大規模改修に献げられたのも一日目の講演内容とも関連して有意義だったと思います。

この会の初めから終わりまでを導きお護り下さった主の働きに深く感謝致します。

< 婦人会大会に参加して >

講師 北川規美子

婦人大会にご一緒させていただき感謝でした。おしゃべりタイムも、食事の時などに楽しむことができました。婦人大会の空気を味わい、大会後には横浜教区の教会をより身近に思うことができました。直面する課題はそれぞれ置かれている場で異なりますが、仰ぎ見る方向を見失うことがないように、一步一步進んで参りましょう。



スタッフの方々の細かなご配慮に感謝です。特に明るいピンク色のシャツは、大会中に、「自分が居る場所は此处で良いんだ」と確認することができ素敵な安心要素でした。

横浜聖アンデレ教会 村井恵子

教区婦人会大会での役員、関係者の皆様にはお世話になり、本当にありがとうございました。お陰様で、ゆったりとしたスペースで、コロナで忘れかけていた久しぶりの対面での交流をじっくりと楽しむことができました。

今回の講師、北川規美子姉による「ヒルダミッションとナザレ修女会」のお話をうか

がうのがとても楽しみでしたが、思った通り、素晴らしい学びのひと時となりました。ヒルダミッションは私の務めているベタニヤ・ホームとも関わりがあり、ホームの歴史を遡ってみても、聖公会、また婦人会の皆様から多くのお祈りとお支えがあって、今があることを再確認させていただくことができました。また、聖餐式での信施、そして北川姉の書籍へのご寄付も全て当ホームの大規模修繕のため、ご寄付いただきましたこと、北川姉、聖職団、役員会のご配慮と、お集りの皆様からの暖かいご支援のお気持ちに心からお礼申し上げます。皆様からお祈りいただいていることが感じられ、涙が湧いてきました。改めて皆様に心からの感謝を申し上げます。

茂原昇天教会 エリサベツ 衣川 厚子

6/27～28三浦海岸のホテルで4年ぶりの開催、入江主教さま・聖職・信徒56名が集められ、対面での再会を心から喜び合う楽しいひと時でした。日程は開会礼拝、講演会、夕の礼拝、バザーと充実し、翌朝各部屋での朝の祈り、最後に全員で聖餐式をお献げしました。

講演「ヒルダミッションとナザレ修女会」では講師の北川規美子姉が沢山の貴重なお写真を通して「シスター方の尊いお働き」を紹介され、特に印象深いお話は「宣教師・シスター方・女性信徒のお働きを通して多くの女性が救われたこと」でした。

また刺繍学校・孤女院・養老院の設置、災害救援など多くの活動のうち、聖餐式用ウェア製作は、ボランティアの皆さまにより今後も継続され、完成を楽しみにしています。

今回参加できたことを、神様・主教さま・参加者の皆さま、特に長い間ご準備下さったチャプレン・役員の皆さまに心より感謝申し上げます。

<教会だより> 今回は静岡地区及び湘南地区の教会からお届けします。

<沼津聖ヨハネ教会> 皆川幸子

教会、婦人会の現況について

沼津聖ヨハネ教会では2019年コロナ禍で主日礼拝は通常の半数15名位です。この3年間でお亡くなりになった方、高齢で教会へ来られない方もおられます。

今年の7月1日(土)に当教会でサーバー・オルター研修会がおこなわれました。講師は吉川司祭、渡部司祭でした。25名の参加者と共に学ばせて頂きました。久しぶりの集まりで感謝でした。2007年からヨハネ教会では婦人会がありません。愛餐会も現状出来ません。信仰と希望と愛を増し加え、神と人への務めを果たしていきたいと思えます。私自身も高齢になり毎日が一生懸命です。

これからもよろしくお願い致します。

<清水聖ヤコブ教会> 杉山晴子

私達の教会は長い歴史がありますが、現在礼拝に常に参列する信徒は4名というとても小さな集まりです。男性1名(私の夫)と婦人3名(内1名は昨年洗礼、堅信を受けられました。感謝です。)という少ない人数の中、皆で教会の仕事を分担しています。一人欠けたら教会活動に支障を来すのではないかと心配するほどです。そんな事情もあり私達の教会には婦人会はありません。

今は当たり前の事ようになっていますが、私が入信して42年間のうち半分、定住教

役者がいないという状態が続いています。でも、小さい教会でも利点はあります。現在、清水での礼拝は月1回ですが、コロナ禍でも空間を広くとり、早くから聖歌を歌い始めました。礼拝後に行われる教会委員会（全員参加）の前にはコロナの対応のもと、持ち寄りそれぞれの家庭の味を楽しみながら昼食を取っています。又、清水での礼拝以外は静岡聖ペテロ教会の礼拝に出席することによって静岡の方々との交流が広がり、それぞれの教会の良さなども感じる事が出来るようになりました。

神様が支えてくださっていることに感謝し前向きな姿勢で教会生活を送って行きたいと思っています。

<静岡聖ペテロ教会> ぶどうの会 藤原玲子

かつては静岡聖ペテロ教会もバザー、愛餐会、オルター、お掃除など多くのことが婦人会の働きに支えられていました。高齢化やさまざまな理由で担い手が変わり、婦人会のメンバーでない方が増えてきました。

そこで、これからの婦人会のあり方を話し合い、形を変えていこうということになりました。長年、様々な働きをしてきて実動が難しくなった今でも婦人会での交流を楽しみにしている方も多くおられます。今までのように第二日曜日の礼拝後「ぶどうの会」としてどなたでも参加できる情報交換や交流の時間を待つことにしました。

お磨きの新しいやり方を教えてもらったり、総会や大会の報告を聞いたり、バザーをどんな形にするのか話し合ったり、みんなで話題を持ち寄って楽しい時間となっています。ご参考になれば幸いです。

<伊豆聖マリヤ教会> マリヤ中川和子

現在婦人会としての活動集会を持つことが出来ませんが、教会としては「積極的な SNS 発信」「聖書に親しむ会による霊性の養い」「境内地を開放することによる地域とのつながり」などに取り組み礼拝出席者が増えるようにつとめています。コロナ以前の愛餐会も準備できる方も少なくなり、各々お弁当持参でした。ご自分で作ってくる方、購入してくる方、それぞれでお互いのお弁当をのぞいたり分け合ったり和やかな楽しい時間を過ごしていました。今はまだ中止していますが、そろそろそんな愛餐会の時を持ちたいと考えています。 まだまだいろいろ制限はありますが、毎主日礼拝をおさげできることに感謝して今の時を大切に過ごしたいと思っています

<鎌倉聖ミカエル教会> 司祭サムエル北澤 洋

現在、当教会の婦人会は休会中で、女性信徒さんだけのグループはありません。その代わりに「お仕事会」という名前で、男女の別なく、草取り作業や会館の台所掃除など、教会に関わるさまざまなご奉仕を行っています。また、先日は有志の女性信徒さんにより、バザーの売れ残り品を格安で販売する一般向けミニバザー「びっくり市」を行い、予想を大きく上回る売り上げがありました。信徒さんそれぞれができることを精一杯してくださっています。とてもありがたいことです。

当教会は今年で聖堂聖別 90 周年を迎えます。記念誌を発行する他、記念礼拝をおさげし、この記念の時に信徒聖職一同で大いに喜び祝いたいと思います

<藤沢聖マルコ教会> オリーブ会 狩野宏子

17 年程前に婦人会をオリーブ会と名称を変えました。会員の方々に会の活動を理解して欲しいとの事で当番制にしています。「渉外」「会計」「奉仕」「販売」「書記」等の役割を分担して、毎月当番会を開き定例会などの計画をしています。

現在は各班 5 名ずつの五班で、一年ごとの輪番制で行っています。
一昨年末のコロナ禍で休止になっていた例会を昨年頃から再開しています。
最近の聖マルコ教会オリーブ会ですが高齢化の波が押し寄せています。

<逗子聖ペテロ教会> イレーネ 佐野淳子

逗子聖ペテロ教会は今年創立 110 周年を迎えました。

4 月 15 日には植松誠主教様による記念講演会「『福音の喜び』証する」を開催、6 月 25 日には入江修主教様司式による記念聖餐式をおささげし、式後にはささやかながらお祝いのひとときを過ごす事が出来ました。

その他記念事業の一環として記念誌発行の準備も進められ、老朽化した聖堂、牧師館等建物維持のための計画的な修繕、工事も実施されております。またコロナ禍で途絶えておりましたバザー、コンサートも再開の予定です。

婦人会に関しましては 7 月より例会を再開は致しましたが、教会員全体の高齢化や社会的な状況も鑑み、これまで婦人会が中心であった掃除や飲食物の準備等を男性や若い方々も含めた形に移行する方向で話し合いが持たれております。

婦人会の先輩方が築かれた奉仕の心を教会全体で引き継ぎ、より良い形にして参りたいと考えております。

【お知らせ】

* オルターギルド製作部門より 「聖布類を仕上げる集会」

日 時：毎月第 2 水曜日 10 時頃～

場 所：秦野聖ルカ教会（046-381-0600）

*事前にご連絡下さい。

* 静岡県ホームミッション 静想日のご案内

日 時：2023 年 12 月 2 日（土） 13 時～15 時

場 所：沼津聖ヨハネ教会

講 師：司祭 山崎 剛師

* 2023 年 日本聖公会宣教協議会

日 時：11 月 10 日～13 日

場 所：清泉寮

テーマ：「いのち 尊厳限りないもの～となりびとなるために～」

聖職、スタッフ、パネラーの他、各教区より各代表の方々が参加します。

（横浜教区婦人会からは青木亜矢姉が出席します）

* 第 76 回横浜教区婦人会総会 2024 年 1 月 24 日（水）開催です。

♪ ご寄稿頂いた皆様、ありがとうございました。 ♪